

風光



「あすなる分会」結成おめでとう!!

はじまったばかりの保育

今回組合に加入しました名大病院 あすなる保育所改め、「あすなる保育園」の保育士桑田です。一年間だけ第一めいほく保育園にお世話になってから、あすなる保育所の保育士になりました。あすなるに子どもが少ないときには、ひまわり保育園に交流保育や出稼きさせて頂いて、半年も居候するごきもありません。今年の1月に入札で7月からポピンス運営の保育園となり、実はこれを書いている今がポピンスの保育園となつて2日目なのです。

大変だけど

子ども達のために

7月からポピンスの運営となり、新しい環境に、在籍していたO才児は大泣きで、2日目も落ち着かない状態です。書くことも細かく様々なチェックリストの他、保育以外のやることも多く、特に今は子どもたちに出来るだけ関わりたいのに職員が落ち着かず、子ども達に申し訳ない気持ちでいっぱいです。

でも 新しい職員の人達はみんないい人たちなのでこれから慣れていく中で、色々話し合つて子どもたちが安心して過ごせる場とな

るよう、頑張っていきたいです。

組合加入の際はひまわり保育園の先生方に本当に色々とお世話になりました!!

院内保育所の方も組合にはたくさんいらつしやるので、色々お話を聞いたり交流ができたらと思います。これからよろしくお願ひします。

(あすなる分会 桑田)

あすなる分会

結成によせて

共に進めてきた保育

名大病院内あすなる保育所は、34年前ひまわり保育園認可後も、医学部内の名古屋市外の職員や年度途中の産休明けの子どもの保育を保証するために、院内に設置され、名大職組やたくさんの方々に守られて保育を続けてきました。ひまわり保育園は、認可後もあすなる保育所と協力共同の関係を継続させ、保育交流や体制援助などを行ってきました。現職員は不安定な雇用の中でも、アットホームな雰囲気や保育への努力してきてくれました。

残念ながら2009年7月からポピンスに委託されることになりましたが、あすなるの職員は、そ



れまでの保育を引き継いで子どもたちや父母を支えていきたいという思いで、新しいあすなる保育園の職員になって残ることになりました。

これからも一緒に

これからのあすなる保育園の職員の雇用や労働条件を守っていくために、福祉保育労働組合の加勢を勧め、ひまわり分会が共に組合活動を支え、これまで通りの保育や給食づくりの相談や交流もできるようなしていきたいと考えました。あすなるの二人が大変な中で決意してくれたので、私達もできる限り応援したいと決意を新たにしています。

公然化して出発したあすなる分会。企業の経営者を相手にこれからどんなことがあるかわかりませんが、地本の皆さん、支部のみなさん、そして職保部会の皆さん、今後ともよろしくお願ひします。

(ひまわり保育園分会一同)

風の音

先日、北海道旅行に行きました。最近バタバタしていたので久しぶりにゆっくりすることができました。

せっつかたから泊は富良野の高級フレンチが味わえるホテルに泊まるうとたいぶ前から予約していましたが、何か似合わないし、リラックスできない気がして直前にキャンセルしてペンションに泊まることにしました。ペンションは丘の上であり、小麦畑やシャカイモ畑が一面に広がり「北海道に来た」と実感できる雄大な景色が広がっていました。

夕食は地元食材を使ったあつたかく素朴なもの、特に紫花豆のコロッケはあつさりしておいしかった。保育園のメニューにも使えそうと作り方を奥さんに聞いてみました。

朝は早起きして宿の愛犬ベリーとゆっくり散歩、キタキツネにも出会い得た気分。新鮮な空気を吸ってリラックスできたひとときでした。

非日常的な豪華な旅も日常を忘れられていいのですが、身の丈にあつた旅はのんびりリラックスでき、日常生活に戻った時に少し楽しく生活するヒントになるものでした。

会議やなんやらで忙しくなかなか難しいですが、たまには早起して散歩でも出かけてみようと思つた旅でした。

しんじゅん

パリン全国集会

in京都

5月23・24日

非正規ではたらくなかまの全国集会に、福祉保育労からは子ども一人を含めて、4人で参加してきました。今年、発足の「全労連非正規雇用労働者全国センター」が主催し、京都で行われ、500人の参加者が全国から集まりました。

全国種別学習交流集会 みんなで勉強してきました！

今年インフルエ
ンザの影響でキャン
セルが相次ぎ、開催
が危ぶまれた中、マ
スク着用、手洗い励
行を徹底しての開催
となりました。全体
講演は神戸大学の二
宮厚美氏から「雇用
破壊と貧困の打開め
ざして」との話を受
け、現場から8団体
がそれぞれ報告をし、
集会后は京都市役所
めざしてのパレードに参加してき
ました。

翌日の分科会は「立ち上がった
派遣、請負の仲間」「外国人労働
者の雇用と権利」「雇賃、公契約」
など7つの分科会にわかれての討
論をおこないました。



「非正規の労働条件改善」の分科
会では、島根、大阪の福祉労の仲
間もいて、改正パート労働法をど
う生かしたらいいのか、世界と比
べ、日本の働き方は尋常でないこ
とを捉え、学習を深め「改正パー
ト法」を生かせる取り組みを進め
ようと提案されました。初日の夜
は全体交流会後、福祉労独自の交
流をしました。京都大阪など関
西地方の仲間も駆け付けてくれて、
仲野さんの元気な姿や愛労連の樽
松さんの飛び入り参加もあり、そ
れぞれの職場の状況など語り、親
睦を深めました。

（かわらぎ分科会 藤井）

高齢福祉の職場に働く 仲間の全国交流集会

in大阪
6月20・21日

組合という組織に初めて入れて
いただき、何がなんだかかわからな
いままの参加でした。

それも第一日は仕事で、2日
からの分科会からの参加です。
第2分科会の「労働組合って何？」

も魅力的でしたが、やはり仕事に
少しでも役立てれば、と思い「認
知症高齢者のケアを考える」とい
う第3分科会に参加いたしました。
助言者は立命館大学の石倉康次さ
んです。参加者は約50名。50代と
20代の女性の中に20代の男性がチ
ラホラいらっしやいました。

まず2つの事例が紹介されまし
たが、参加者それぞれが、今現在
抱えている悩みを出し合いながら
のテーマ探しから話し合いは始ま
りました。

ヘルパー・特養、デイサービス
の介護職員、栄養士などの皆さん
が、どうしたら利用者さんが、そ
のらしさを保ちつつ暮らし続け
ていく事ができるのか、悩みを抱
えながら、介護を試してみること
が良くわかりました。また介護職
員の言葉より、医者の一言が、家
族にとっては非常に重いのに、医
者自身は、認知症の利用者さんの
ことを本当の意味でわかっていな
い。その医者を巻き込んだ地域
介護をしていくことが、これから
の高齢者社会には、もっと大切に
なっていくのではないかとという
ことも話し合われました。

まだ介護職1年未満の私ですが、
10年以上この介護の現場で働いて
みえる方も、それぞれ悩みを抱え
てみえるのだと感じました。まだ
まだ先は永いですが、ぼちぼち行
く中で仲間とともに、をはじめたい

と思い、会場を後にいたしました。
ありがとうございました。

（デイサービス第2町南 組合員 遠藤）



障害職場に働く 職員の全国交流集会

in仙台
6月20・21日

6月20日から21日にかけて仙台
で行われた障害種別の交流会に参
加しました。約70名の参加者は長
崎から北海道まで各地から結集し
全国大会として、さまざま話が
話されました。

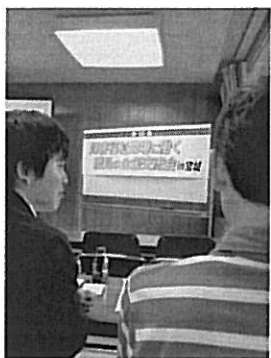
最初に全体会が行われ、基調報
告として、今の障害職場にかかわ
る報告がされました。障害者自立
支援法の問題、障害者権利条約に
ついて、さらには報告書が返って
きた、100への提訴についての報
告がされました。記念講演のテー
マも障害者権利条約についてのも

のだったので、大変学習になりま
した。

その後に分科会が行われまし
た。「何とかしたい、福祉労働者
の健康問題」に参加しました。1
日目は各職場の健康問題に対して、
それぞれ出し合いました。どこの
職場からもうろろな問題が出て
きました。福祉職場にはつきもの
の腰痛など体への負担の問題、メ
ンタルヘルスについての問題、ま
た過労死についての報告もありま
した。

2日目は前日出てきたことに対
してどうしたらいいのかを話し合
いました。1つには休憩や有給な
ど休息をちゃんと取ることを意識
してする。2つめは、解決のため
に力が足りないとき、個人ではな
く職場、職場ではなく、社会の問
題にしていくことでした。どうし
ても個人や職場だけの問題になっ
てしまいが本来的には制度矛盾に
よる部分が大きい、ちゃんと訴え
ていかななくてはいけないことな
どが話されました。

（みなと指社会分会 大川）



**全国保育部会
学習交流集会在群馬**

6月27・28日

6月の27日・28日に全国保育部会第18回学習交流会in群馬に、東海地本から7名で参加してきました。学習会には全国から251名の参加がありました。今までの中で参加者が一番多かったということで、「保育制度改革反対」という思いや、「今のままではだめなんだ。みんな力を合わせて公的保育を守り発展させていこう」という全国の人たちの思いを感じることができ、全国で子どものためにと、

保育制度改革反対の人たちがこんなにいるのだと、力をもらうことができました。



記念講演では、フリージャーナリストで現役の保育園保護者

でもある猪熊弘子さんの「保育制度改革」についての話を聞きました。

猪熊さんが仕事に復帰しようと保育園を探したとき、兄弟で同じ園に入所できないだけでなく、どこも待機児にあふれていて、入園を断られるたびに、子どもを産んで育てようとしている自分が否定されているように感じたという父母の立場から率直な思いを聞きました。保育制度が改定されると、所得格差が保育の格差につながってしまう、子どもの育ちのためという考え方ではなくなくなってしまいます。「制度が改定されてしまうとどうなるのか？」ということをお

とにかくまずは「知ってもらうこと！」。知ればこの改革が子どもたちにとっても働く父母にとっても決してよいものではないことや怒りをみんなで共有できると思えます。保育者・父母、地域の人たちも巻き込んで人と人とのつながり合いを大切に運動していくことが大きな力につながると感じました。

分科会では『めざす保育と集団づくり』に参加しました。その中で大人の集団づくりが、子どもにめざす保育にかかわっていく、保育をするのにチームワークは大切であるという話を話し合いました。こんな子どもになってほしいと同じ願いをもつ仲間がいること、仲間がいるから育ち合えるし、仲間がいるから支え合えるのだと、改めて仲間がいるって素敵だなあと感じました。これからも保育が楽しい、働き続けたいと思えるような組合の組織づくりをしていきたいです。

全国の方たちと交流ができ、いろいろなお話を聞くことができ、貴重な2日間を過ごすことができました。

（社会館分會）

三木寺・角田・高木

**シリーズ・名物分會員
小池 真理子さん
一宮かもめ分會**

私は、かもめ分會の小池真理子といっています。去年に引き続き分會長をやらせてもらっています。この職場で働きだして13年になります。気が持ちはまだまだ新人のまま・・・（笑）組合の事も知りつくしているとは程遠いわたしが、なぜ分會長をやっているのかというと頼れる先輩と明るい後輩たちに支えられているからだと思います。頼りない私をいつも支えてくれる仲間本当に感謝です。

分會では難しい事も話し合いますが、楽しいイベントも企画して楽しくワイワイとみんな交流したいと園長や臨職、パートの方々にも声

をかけて園庭でバーベキューをしたり毎月行われている分會をただの係報告で終わらせるのではなく日頃なかなか言えない悩みなどを話し合える場になればとおもっています。中々上手く会議を進行できていない・・・と反省です。では、先輩でありながらいつも私の事を力強く支えてくれる方からコメントをいただきました。

給食室で調理を担当している森上です。分會長はいつも明るく前向きで、職員や親からの信頼もあつくとても尊敬する先生です。私が組合に入った時、何もわからない事にばかりでした。でも、分會長は色々な場に一緒に付き添ってくれたり、組合とはどういうものかと教えてくださいました。

私にとって母のような存在です。毎月1回の分會は、そんな分會長の進行で悩みを打ち明けやすいアットホームな場になっています。



まもなく総選挙があります

投票とは、政治に対する自分の意思表示です。「変わらないから行かない」ではなく、「変えたい」という一人ひとりの願いや不満、思いを形にすることに大きな意味があります。今なら、政治は変えられます！今の社会を良くするために、一緒に変えていきましょう！これが今回の総選挙のキャンペーングッズです。かわいいハンドタオルになっております

全国福祉保育労働組合

「なつわか。」にあつまれ!



こんにちは! 福保労青年部「なつわか。実行委員会」です。
現在「なつわか。実行委員会」では、様々な分会から集まって下さった14人の実行委員と9人の青年部事務局員で、今年の8月22日(土)・23日(日)に東海で行われる2年に一度の全国青年交流学習会“なつわか。”に向け、日々着々と準備を進めているところです!

“なつわか。”を作り上げていく上で「参加する側だけでなく、作る側も楽しめるように」を基本に、実行委員会では毎回軽食を食べながらの和やかな雰囲気大切に、各職場の交流も交えながら話し合いを進めてきています。

これまで3回の実行委員会を行ってきましたが、“なつわか。”とは何だろう…から始まり、一人ひとりが「あんなことしたい」「こんなことしたい」と、やりたいことをたくさん出し合ってきました。

今年の“なつわか。”では、一日目は主に記念講演、パネルトーク、夕食交流会。二日目はグループトーク、青年部定期大会を行い、終了後にはオプションツアーを企画しています。現在は担当に分かれて夕食交流会やオプションツアーを盛り上げるための企画案を練り、具体化させているところです。“なつわか。実行委員会”では、一緒に“なつわか。”を盛り上げていく実行委員をまだまだ大募集しています! あなたも私たちと一緒に“なつわか。”を作り上げていきませんか? 実行委員会は7/10・23、8/3地本会議室で行います。興味を持った人は地本8.8.1-2.9.7.1まで! 待ってます!

交流会は、グリフェスみたいに屋台を出して、夏祭りのイメージです。各支部、出店の協力ををお願いします!

6月19日に労働会館にて藤田保健衛生大学の太田充彦先生を招いて「職場巡視を終えて、産業医からみた福祉現場」の学習会が開かれました。

太田先生は実際に昨年度規模保育園16ヶ園を産業医として職場巡視から指導を行なってくれた方で、産業医という立場から①小規模事業場でも整備すべき安全衛生組織②腰痛予防対策③メンタルヘルス対応の3つの内容について分かりやすくお話しして頂きました。

①では、産業医の活動について詳しく学び、②では、実際に腰に負担がかかる作業をしていないか書き出すことで、改めて自分を見直すきっかけとなり、同時に改善方法も学びました。③では、ケア方法について学び、どうしたら軽減しているかについて学びました。

最後に全体を通して、私たち労働者がいきいきと働け続けられるよう、よりよい職場にしていくには、安全・健康を守りながら全労働者が同じ意識をもち行動していくことが大切であることを実感しました。

“産業医”って何? 大企業じゃなくても雇えるの? と自分の中

(名東分会 内藤)

「編集後記」
もうすぐ夏!! 夏といえは: ながいお休み夏休み!! 海、プール、旅行、浴衣!! 言ってた頃が懐かしいな。今は夏といえは: 夏まつりや学習会だったり、何かとバタバタ過ごしています。

そんな夏がまたやってきました。今年もいろんなところで学習会がありました。(まだまだ続くけど) 日々の疲れでヘトヘトになりながらも、参加していった元気をもらって帰ってきています。そして、夏の最後のイベントに『なつわか。』があります。組合の青年部の全国

職対部の学習会 「太田先生の職場巡視」

今回の学習会に参加して産業医の必要性を改めて強く感じました。小規模保育所16ヶ園の産業医をしておられる太田先生の話の中で、いくつかポイントがありました。その中の一つが「労働者の健康は法的に守られている」

ではしっかり理解できていない。保育の職場との「健康を守る!」という意識のズレを感じながら職対部に参加してました。

福祉職場の中でも病休者は出ているし、メンタル面でも増えてきていると思います。働く仲間としてどう支えていけば良いのかなど職場としてかかえている問題も大きく対応に苦慮しているのではないかと思います。

今後は「大変そう...」って思っていたけど、会議を重ねる内に『楽しい☆☆』って思うことがいっぱいあります。「みんな楽しんでやるう」と言っているだけあって、自分たちの好きなことをどうやったらできるか考え中です。

これは、青年だけとは言わず(??) 楽しいこと好きな人には参加する価値ありますよ!! まだまだ、そんな日々が続きますが、ばてないように楽しみながら過ぎていこうかなと思う日々です。

労働者がそのことをしっかりと認識して職場として対応をきちんとさせていかなければならぬと思います。

自分たちの職場にも産業医をおき、健康で長く働き続けられる職場作りをしていきたいと思っていました。

(みなと福祉分会 眞鍋道子)

大会で、今年は愛知で開催され

初めは「大変そう...」って思っていたけど、会議を重ねる内に『楽しい☆☆』って思うことがいっぱいあります。「みんな楽しんでやるう」と言っているだけあって、自分たちの好きなことをどうやったらできるか考え中です。

これは、青年だけとは言わず(??) 楽しいこと好きな人には参加する価値ありますよ!! まだまだ、そんな日々が続きますが、ばてないように楽しみながら過ぎていこうかなと思う日々です。

(苗)